

早春対談 加藤厚生労働大臣に聞く



1月11日(木)、日身連の阿部一彦会長が、厚生労働省10階の厚生労働大臣室に加藤勝信厚生労働大臣をお訪ねしました。すでに障害者政策委員会
会で面識のあった二人の対談は、障害者施策にとどまらず、地域共生社会
の実現にむけた障害特性の理解など談論風発、大いに盛り上がりました。

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
テアダックビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

出会いは、障害者政策委員会

阿部：こんにちは。お忙しいところ、お時間を取っていただき、ありがとうございます。

加藤：こんにちは。お寒い中、ようこそいらつしやいました。

阿部：いつも私どもの全国大会にご祝辞をいただいて、ありがとうございます。今年も群馬で行いますので、もしもおいでいただけたら、本当にうれしいです。

加藤：わかりました、日程が合えば、出席しますね。

阿部：ありがとうございます。どうぞよろしくお願いたします。ところで、大臣とは障害者政策委員会でご一緒させていただいたことがありましたね。

加藤：阿部会長には障害者政策委員会をはじめさまざまな審議の場においてご貢献をいただいております。ご貢献を改めてお礼申し上げます。

阿部：いま、社会全体が、すべての人たち誰もが暮らしやすい社会という流れが出てきていますが、まさに、今の障害者福祉の流れだと

思います。私も、日身連の会長として、当事者参画の政策委員会のなかで議論に加わらせていただいています。こうした仕組みがあることに、あらためて先達のご努力に感謝したいと思います。

加藤：私は去年の8月から厚生労働大臣となりましたが、その前2年間は一億総活躍、働き方改革或いは共生社会担当大臣をさせていただき、障害者政策にはこれまでも関わってまいりました。

「ニッポン一億総活躍プラン」のインパクト

阿部：私は、障害者政策委員会のほか、労働政策審議会の障害者雇用分科会に関わらせていただいています。障害のある方の就労の機会が広がることを切に願っていますが、合理的配慮の提供とともに、その方の能力を十分に活かす、働くことが当たり前の社会の実現をめざしていただけていることを期待していますので、あの「ニッポン一億総活躍プラン」というのは、大変インパクトがありました。

加藤：ありがとうございます。人は誰でも、置かれている状況はいろいろありますが、様々な制約がありますが、それぞれ持って